

# 平成26年度 一般会計予算の主な事業 1万円未満切り捨て

- 国分庁舎別館建設事業** 5,260万円  
現庁舎北側駐車場に4階建ての庁舎を増築するための基本設計及び実施設計費用等
- 衛生確保対策事業** 486万円  
災害時の防疫や不快害虫（ヤンバルトサカヤステ等）の駆除に要する諸経費
- 臨時福祉給付金給付事業** 5億4,848万円  
平成26年4月から消費税率が8%に引き上げられることに伴い、所得の低い方々への暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給する
- 子育て世帯臨時特例給付金給付事業** 1億8,673万円  
消費税引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図るため、臨時的に給付措置を行う
- 子ども医療費助成事業** 3億2,074万円  
出生から中学校修了までの子どもの医療費を助成し、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進するとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減する
- 木質バイオマス安定調達支援事業** 1億200万円  
森林組合、素材生産者等の供給者が木質バイオマス発電所の燃料用に搬出する間伐材及び一般材に対して補助を行う
- 浜之市ふれあいセンター管理運営事業** 1,469万円  
浜之市ふれあいセンターの管理運営業務を直営で行う
- 新川北線道路整備事業** 5億851万円  
(隼人)新川北～福島線(しらすぎ橋)の委託料及び工事請負費
- 総合治水対策事業** 2億3,750万円  
福島地区における慢性的な排水不良を改善するための排水路整備を行う
- 公園整備事業** 1億1,770万円  
上小川地区と浜之市地区の公園整備に要する費用

- 隼人駅東土地区画整理事業** 6億6,200万円  
本地区は、JR日豊本線、国道223号及び県道北永野田小浜線に囲まれた区域である。JR隼人駅の東口を新しい交通拠点とした健全な都市環境を創出するため、公共施設の整備改善を行い、土地利用を推進する
- 力強い木材産業づくり事業** 4億4,410万円  
木材加工流通施設等の整備により低コストで安定的に供給できる体制を構築するため、木材チップ加工施設及びツーバイフォー住宅の主要部材製造加工施設の導入へ助成し、外国産材等に対抗する競争力を強化する
- 農地防災事業** 2,007万円  
井手原水路は牧園・横川地区の水田への幹線用水路であり、近年の風水害により土水路等の崩壊の恐れがあることから、施設被害を未然防止する
- 商工業資金利子補給事業** 5,560万円  
市内の商工業者の経営安定化をさせるため、利子補給補助を行う
- 中心市街地活性化事業** 283万円  
中心市街地活性化計画等の検討及び霧島商工会議所が行うタウンマネージメント事業を支援することにより、商工業の振興を進める
- 道路施設防災安全対策事業** 1億2,040万円  
道路施設の老朽化や地震・風水害に対する防災安全対策として、老朽化した舗装の修繕や法面危険箇所の防災対策を実施し、通行の円滑化及び安全確保を行う
- 市営住宅等建替事業** 6,844万円  
老朽化した市営住宅を建て替えて、安全で快適な住環境を提供する
- 小学校英語教育推進事業** 744万円  
児童が英語圏の生活や文化に親しむため、外国語活動等支援員を計画的に派遣する
- いじめ・不登校問題対策サポート事業** 918万円  
いじめ問題に迅速かつ適切に対応するため、専門の相談員1人を配置するとともに、不登校の児童生徒に対して必要な教育支援を行うため、支援センター支援員4人を2か所の支援センターに配置する

# 平成26年度 一般会計当初予算 546億2,000万円 を可決

## 一般会計は前年度比16億800万円の増



建設中のしらすぎ橋

### 平成26年度 一般会計予算

平成26年度の一般会計当初予算は、「第一次霧島市総合計画」の実現などを目指し、行政評価を活用しながら7つの政策分野を推進するために、基本的な経営方針の徹底、自主財源の確保、事務事業の抜本的見直し、投資的事業の厳選、指定管理者制度の活用のほか、消費税率引き上げへの適切な対応、政府の経済政策への積極的な対応

平成25年度予算と比較すると、予算規模で16億800万円、約3%の増となります。

この要因は、地域経済に直結する普通建設事業の増額及び社会保障関係費などの自然増、消費税率引き上げに対する対応で、国の臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の計上によるものです。

**経営健全化計画に織り込んでいない特殊要因等を控除すると、予算総額は約526億3000万円となり、平成25年度との比較で約2億3000万円、0.4%の減額となっています。**

**主な質疑**  
問 合併特例債の期限が5年間延長された場合、国分庁舎別館建設事業では、元利償還金は交付税措置されるのか。

### 各会計予算

会計名	平成26年度	平成25年度	差引額	
一般会計	546億2,000万円	530億1,200万円	16億800万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	150億4,747万円	150億2,407万円	2,340万円
	後期高齢者医療特別会計	12億6,460万円	11億9,174万円	7,286万円
	介護保険特別会計	99億8,060万円	96億4,430万円	3億3,630万円
	交通災害共済事業特別会計	2,346万円	2,492万円	△146万円
	下水道事業特別会計	15億1,140万円	16億1,365万円	△1億225万円
	温泉供給特別会計	8,032万円	8,300万円	△268万円
	小計	279億785万円	275億8,168万円	3億2,617万円
合計	825億2,785万円	805億9,368万円	19億3,417万円	

### 企業会計予算

会計名	平成26年度	平成25年度	差引額
水道事業会計	34億6,957万円	32億6,343万円	2億614万円
工業用水道事業会計	4,025万円	2,998万円	1,027万円
病院事業会計	49億6,223万円	49億7,393万円	△1,170万円

※企業会計予算は、収益的支出及び資本的支出を合計したものを掲載しています。1万円未満切り捨て

**問** 合併特例債の対象になるものは、起債の対象事業費の95%が充当される。そのうち、元利償還金の70%が交付税算入されることになる。

**問** 生活保護費が26億5000万円計上されているが、保護開始となった世帯数と、保護廃止となった世帯数はいくらか。

**答** 平成24年度の実績で、開始となったのは、175世帯257人、廃止となったのは、146世帯236人である。

**問** 救急・救助活動事業の中で、ドクターヘリ負担金の積算根拠は。

**答** 県の運行委員会発足当初に、1回につき3200円の負担額が示された。平成25年度は41件の要請であったが、今回の予算計上では60件で計算した。

**問** ごみ処理場の管理事業について、牧之原に完結する廃棄物最終処理場に持ち込む飛灰固化物の量はどれくらいか。

**答** 今まで埋め立て処分していた量が、平成24年度は、1679トンである。その約半量を牧之原に持つていく計画である。

**問** 浜之市、隼人駅東の土地区画整理事業の進捗率は。

**答** 平成26年度末で、浜之市地区84.3%、隼人駅東地区22.3%の進捗率となる。

**問** 新川北線道路整備事業のしらすぎ橋建設の進捗状況は。

**答** 全体事業費は取付け道路まで入れて36億円となり、平成26年度末で約51%の進捗率となる。